排水設備の新設等確認申請書	【 チェックリスト】 【記載例】 (参考 : 排水設備の設計と施工)	責任技術者: 汚水 管太郎
◇下記の項目を記載できているか、また必要な書類は添付等しているか。		
	情者(氏名)のフリガナ ☑ 指定工事	
■ 位置図 (☑ 申請箇所 ☑ 付近■ 平面図	の建物 🗹 町名 💟 番地)	責任技術者の直筆の署名をお願いします。
☑ 縮尺は1/200以上とし、広大な敷地においてはこれ以下でも可。(審査担当者が内容確認できれば可)		
☑ 申請地の境界を記入。 (敷地全体を記入する。道・水路や隣地との関係を明示)		
☑ 申請地内のすべての建物・井戸の	配置。	□ の箇所にチェックをお願いします。
■ 屋内(一部屋外)については、		記入例: 🗹 (チェック済) 、🖾 (対象外)
☑ 各部屋の間仕切り ☑ 使用器具(凡例によるもの)の位置 ☑ 阻集器等の名称及び形状、選定基準計算書		
■ 屋外については、		
☑ 下水管 ☑ 管きょ延長(管径の120倍以下)☑ 管種 ☑ 管径(最低100mm)☑ 流れ方向 ☑ ますの深さ		
☑ 勾配(原則2/100以上、やむを得ない場合1/100以上) ☑ ます径(深さに合っているか)		
☑ 最終ます(径は深さに合っているか) ☑ 取付管(新設・既設)		
■ 地下水(井水)等を使用している場合、緑色で明示すること。		
☑ 器具(ポンプ、配管状況、水栓)及び位置。		
■ 平面図内の色分けは、		
☑ 公共下水道・・・黒の二重線		
✓ 新設 [汚水] 管(合流管を含む)✓ 既設 [汚水] 管(合流管を含む)✓ 既設 [汚水] 管(合流管を含む)		
☑ 新設 [雨水] 管 ・・・・・・・・ 青の実線 (─────)☑ 既設 [雨水] 管 ・・・・・・・ 青の破線 ()☑ 雨水放流先を確認し記入すること (街渠ます接続、他人の敷地内通過等に注意!)		
☑ 撤去管 (浄化槽 を含む) ・・・・・・・ 黒の破線 ()		
☑ 地下水 (井戸水)等 ・・・・・・・ 緑の破線 ()		
■ 3階建て以上の建物の場合、		
✓ 1階の平面図は屋外、屋内の排水設備、2階以上は配管計画が異なる代表的な階の平面図。 地下階については、最深階の排水槽、排水ボンブを含む平面図。		
■縦断面図		
☑ 原則、縦1/100、横は平面図と同じ。 (※勾配を図面に記入。) 原則として、図面の左から右へ流下。		
☑ 2階以上の建物における器具の配置	置、排水管、通気管の配管状態	
図 構造図 (その他)□ 排水槽、ボンブ施設等 図 その他] ()
☑ その他添付書類		
	り建物に排水設備を設置、又は他人の設置 マッカスを開発のは、1972年 1972年 1972	
□ 誓約書 (建替等の計画がある場合 ■ 阻集器有りの場合の必要書類	合や既存の建築状況等により、やむを得す 	了一部の排水を下水道へ流さない場合/
四果命有りの場合の必要者類図 阻集器の構造図	<u>№</u> ※阻集器とは ☑グリース阳集器(飲食業を含む)	営業用調理場等) 図ランドリー阻集器
図 誓約書(グリース阻集器の場合)図 計算書		整備工場等) 図プラスタ阻集器
その他確認事項		
☑ 既設取付管あり (既設取付管	── の写真等の資料がある場合、提供を	□ 希望する☑ 希望しない
☑ 既設取付管なし / □ 市施工希望 施工希望時期: 月 日までに希望		
	ヶ月以上かかる場合があります。 スケジュー	ルに余裕を持って申請を行ってください。)
	担 : 理由 郵送な ロー発現する ロー発現し	たい (津粞を卒取に立ます)
	郵送を □ 希望する ☑ 希望しる の郵送を希望する場合、完了届提出日ま の切手を貼って提出してください。	ない、言思と文以に木み9。/ でに封筒に送付先・差出人を記入し、